

記入例

(1枚の申請書で3名分(3壺分)記入できます。)

【埋(火)葬の場所】
現在、遺骨が埋葬・埋蔵・収蔵されている墓地または納骨堂の名称を記入してください。

【死亡者との続柄】
申請書左の縦書き①にもありますが、申請者を死亡者から見たときの続柄を記載
この記入例1人目では、中村兵助さんは中村一郎さんの父なので「長男」と記載

【改葬の場所】
遺骨を納骨する墓地・寺院名、所在地

【火葬予定年月日】
改葬の理由で「再火葬」の場合

【墓地(納骨堂)使用者との関係】
墓地(納骨堂)使用者本人以外が申請者の時、墓地(納骨堂)使用者本人(使用許可を受けている者)との続柄を記入。
※ 下記「遺骨改葬承諾」欄に墓地(納骨堂)使用者本人が署名又は記名押印をしていることが必

【埋葬・埋蔵・収蔵証明】
改葬前の墓地(納骨堂)管理者に署名又は記名押印をもらってから提出してください。

※改葬前の墓地(墓園・納骨堂)が鹿児島市宮墓地(墓園・納骨堂)の場合は鹿児島市環境衛生課長なので事前の記載は不要

※①死亡者との続柄は、申請者が死亡者から見て何にあたるかを記入してください。
②遺骨改葬承諾欄は、申請者と墓地(納骨堂)の使用者が異なる場合に記載すること。
③太線の中を黒ボールペンで、はっきりと書いてください。
④空欄がある場合は、斜線を引いてください。

許可番号	改葬(改葬骨火葬)許可申請書		
第 号	死亡者の本籍	鹿児島市山下町8番地	不詳
	死亡者の住所	同上	不詳
	死亡者の氏名	中村 兵助	中村家先祖
	死亡者の性別	男・女	男・女
	死亡年月日	昭和60年10月1日	不詳
	埋(火)葬の場所	〇〇共同墓地	
	埋(火)葬年月日	昭和60年10月3日	不詳
	死亡者との続柄	長男	子孫
	改葬の理由	移骨・再火葬	
	改葬の場所	鹿児島市宮湯之墓地 鹿児島市東桜島町2001番地	
	改葬予定年月日	令和〇〇年 10月 10日	
	火葬予定年月日	令和〇〇年 10月 10日	
	上記のとおり申請いたします。		
	令和〇〇年10月 1日		
	申請者 住所	鹿児島市山下町11番1号	
	氏名	中村 一郎 (署名又は記名押印)	
	鹿児島市長 殿	墓地(納骨堂)使用者との関係(兄)	
	埋葬・埋蔵・収蔵証明		
	上記の遺骨が、	〇〇共同 墓地(納骨堂)に埋葬・埋蔵・収蔵されていることを証明します。	
		〇〇共同墓地管理組合長	
	証明者	墓地(納骨堂)管理者 鹿児島 太郎 (署名又は記名押印)	
	遺骨改葬承諾		
	申請者が、上記遺骨を私の使用する墓地(納骨堂)から改葬することを承諾します。		
	令和〇〇年10月 1日		
	墓地(納骨堂)使用者 住所	鹿児島市谷山中央4丁目4327番地	
	氏名	中村 二郎 (署名又は記名押印)	

「改葬許可申請書」及び「改葬許可証」については、現在、遺骨を埋葬・埋蔵・収蔵している墓地(納骨堂)の所在する市区町村長への申請及び許可が必要になりますので、墓地(納骨堂)の所在地が鹿児島市の時はこの「改葬(改葬骨火葬)許可申請書」を鹿児島市役所環境衛生課へ提出して下さい。

※ 現在、遺骨を埋葬・埋蔵・収蔵している**墓地(納骨堂)の所在地が鹿児島市以外の際は、所在地の市区町村の様式で記載し、その市区町村の担当課へ提出して下さい。**

【埋葬年月日】
埋葬年月日が不明の時は「不詳」又は「死亡年月日の2日後」を記載してください。

【改葬の理由】
移骨・・・遺骨を他へ移す時

関係欄が「本人」の場合、申請書裏面の「誓約書」は必ず記入して下さい。
※市営墓地の場合は記入不要。

改葬(改葬骨火葬)許可申請書 裏面 「誓約書」

誓約書

鹿児島市長 殿

今回の改葬(改葬骨火葬)許可申請にあたり、私が申請書に記載した遺骨の埋葬されている墓地・納骨堂使用者(当該墓地)であり、申請書と使用者が同一の者であることに間違いありません。

改葬に伴い、墓所・その他骨から異変が生じた場合は、私が責任をもって解決し、鹿児島市には一切謝罪感をおかけないことを誓約します。

令和〇〇年 月 日

氏名 _____ (署名又は記名押印)

市民生活科

市民生活科
(誓約に関する権利の帰属)
 遺骨、墓及び墳墓の所有権は、墳墓の所在地にかかわらず、誓約によって喪失し、当該市民生活科に帰属する。

※ 鹿児島市営墓地で使用者が亡くなっている場合、先に「使用者変更届」が必要です。